

2011年を締めくくるにあたり、KBS 創研より皆様へごあいさつ申し上げます。

今年も残すところあと1ヶ月となりました。皆様にとって今年はどうの1年でしたでしょうか。

3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原発事故は日本全体を震撼させた大きな出来事でした。改めてお亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに被災地の一日も早い復興を心より祈念いたします。またギリシャ、イタリア等の財政不安からヨーロッパの経済情勢の悪化が懸念され、世界経済に大ブレーキがかかった1年でもありました。投資家の円買いが進み、円高が戦後最高値を記録する等、輸出関連企業を中心にわが国経済も大きな影響を受けております。

観光産業にとっても厳しい1年でした。夏以降は回復の兆しが見えておりますが、震災発生後暫く続いた旅行自粛ムードによる売上の減少をカバーするには至っておりません。当社のクライアント様においても同様で、やむを得ず陣容の縮小を図った企業様も少なくありません。

このような中当社としましては、企業様と金融機関との間に入り事業計画書の作成業務等を通じ、返済猶予を中心とした資金の確保に腐心してまいりました。年末、年度末を迎えるため、取引金融機関のご理解を頂くべく経営者の皆様方とともに汗を流し、1社でも多くの企業様の資金確保のお役に立ってまいる所存です。今年1月に不動産コンサルタントのアフェクト社と合併で立ち上げた事業再生専門企業「ネクストサポート株式会社」では、経営に関わるあらゆるコストを削減する専門家集団として今般「コストカット協議会（通称COSUCA）」を立ち上げました。特に複雑な契約形態となっている不動産賃貸や水道、電気、ガス、通信及び各種保守業務の分野を中心にコスト削減を図りキャッシュを生み出すお手伝いをさせていただいております。厳しい経営環境が継続する中、これらの事業は更に強化してまいります。

しかし、いくら外部環境が厳しくても打って出る事業は社会・経済の活性化に不可欠です。学生ベンチャーの観光アソシエイツ社と共同で運営し今年10月に法人化した「特定非営利活動法人(NPO) ふるさと応援隊」では、経済産業省の地域資源活用支援事業を活用し、兵庫県北部の香美町香住区において新鮮な海産物を用いた観光プログラムの開発、流通に取り組んでおります。町営国民宿舎である「ファミリーイン今子浦」様との協働により開発した漁師料理「海鮮の極み」は新聞等マスコミの注目を浴び、多くの観光客の集客に寄与することができました。また同NPOにおいては地域振興に興味を持つ学生を対象に「ふるさと応援塾」を開講。次世代の観光振興を担う若者の育成にも着手しました。わが国には魅力的な観光資源が数多く存在します。これらを掘り起こして商品化し市場に流通させる取り組みを同NPOの活動を通じ学生の皆さんとともに行うことで、低迷する地域経済の活性化に寄与してまいります。

来る2012年も厳しい環境が続くものと考えます。KBS 創研は観光業界に特化したプロ集団として、個（企業、団体）と面（まち、地域）の双方から観光業界を支援する独自のビジネスモデルを活かし、観光業界の発展、地域経済の活性化に寄与してまいります。

来年もKBS 創研をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長 小泉 寿宏



2011年 KBS TOPICS



【5月】
大阪にて営業会議を開催



【9月】
ふるさと応援隊、香住柴山漁港を視察



【11月】
コストカット協議会（COSUCA）講演会で熱弁の大倉社長



【11月】
ふるさと応援塾、開講！

広がる KBS の事業領域 「事業再生」、「着地型観光支援」2011年、2つの新しい事業がスタート！

事業再生 ネクストサポート株式会社の取り組み

今年1月に発足したネクストサポートでは、不動産コンサルタントである当社代表の大倉が得意とする不動産賃料の削減を中心に、水道光熱費、通信費、保守管理費等企業の様々なコストを削減する専門家集団を形成。コストカット協議会（通称：COSUCA）として事業をスタートさせました。

●コスト削減によるキャッシュフロー確保を支援・・・コストカット協議会（COSUCA）発足！

COSUCA の方針は①初期投資などの持ち出し経費が不要であること②商環境の悪化につながる交渉はしないこと③ワンストップで総合的な提案を行うこと、の3点です。事業再生のファースト・ステップに不可欠なキャッシュフローの改善に力点を置くため、省電システム等初期投資を要する提案ではなく、家主やサプライヤーとの契約改善を中心とした取り組みを行っています。

COSUCA は、削減サービスを提供する運営メンバーと COSUCA を企業に提案するサポートメンバーで構成されています。サポートメンバーとして IT、旅行、保険、広告、施工会社等幅広い業界の企業が参画しているため、今後は削減したコスト部分に対しサポートメンバーが有するソリューションメニューの提案を行うことで総合的な経営支援ができる体制を構築してまいります。

コストカット協議会（COSUCA）の HP もご覧ください <http://cosuca.org>

着地型観光支援 特定非営利活動法人 ふるさと応援隊の取り組み

昨年度よりフィージビリティスタディを実施したふるさと応援隊は、今年10月晴れて NPO として法人格を取得し新たな事業を展開しています。早速、兵庫県香美町香住区にある町営国民宿舎「ファミリーイン今子浦」様との取り組みが始まり、早くも実績が上がっています。また観光振興の若き担い手を育成する「ふるさと応援塾」も開講し、地域振興に興味を持つ学生が集まり勉強会がスタートしました。

●漁師街ならではの地域資源をまちに伝えよう！・・・事務局長 竹腰が京阪神を走る！

漁師料理を参考に開発した「海鮮の極み」は新聞等マスコミの注目を浴び、記事等をご覧になった多くのお客様に地元ならではの味を楽しんでいただくことができました。また、事務局長の竹腰が地域密着型営業を展開する京阪神の中堅旅行会社に営業。既に数件のツアー予約を頂戴しました。ふるさと応援隊の機能である「地域資源の発掘」「商品化」まちの中堅旅行会社への営業やソーシャルネットワークを使った情報発信等の「流通の草の根活動」が活かされ実績に結びつつあります。当地ではズワイガニ漁が解禁されましたので、今後はこれらを活用した商品も提案してまいります。

●地域振興に興味のある学生を地域の応援隊に・・・ふるさと応援塾開講！

11月12日（土）京都市において記念すべき第1回ふるさと応援塾が開講しました。当日は地域振興に興味を持つ16名の学生が参加。同 NPO の代表理事も務める小泉が講師となり、「地域が抱える問題」「なぜ地域振興に観光が必要か」「国の方針とニューツーリズム」等、観光振興に関する様々なテーマで講演するとともに、グループディスカッションを実施し、私たちが考えるニューツーリズムについて意見を交換しました。参加者からは「観光振興の全体像が分ってよかった」「ふるさと応援隊を通じ地域の役に立ちたい」といった前向きな感想が寄せられました。今後は、地域資源をビジネスにするために必要な知識を提供するとともに視察旅行を行うことで観光振興の手法を学んでいただき、来年秋には学生による商品化コンテストを開催したいと考えております。

既存事業も頑張っています！ 東・西各営業部も信頼と実績を広げました

西日本営業部、東日本営業部は、クライアント様との関係強化を方針として地道な取り組みを行いました。今年も更に信頼関係を強化し、多くの実績を上げてまいりました。

●西日本営業部・・・KBS のネットワークを駆使した先進ホテル視察調査が評価

大手企業様の関連ホテル診断の一環として、全国各地の先進ホテルを視察するとともに経営幹部より話を伺う調査を実施しました。いざわホテルの内情を伺うことになるため、いきなりアポイントを申し入れても実現するものではありません。KBS では日頃からお付き合いのある業界関係者のルートからこれら先進ホテルへのコンタクトとり、数箇所の調査を実現しクライアント様から高い評価を頂戴しました。

●東日本営業部・・・関連会社へと広がる大手精密機器メーカーの人財育成業務

観光業界以外の企業においても KBS の取り組みが評価され業務が広がっています。東日本営業部では、東京に本社のある大手精密機器メーカー様の人財育成業務を受託しておりますが、クライアント様の現場実態に合ったカリキュラムが高く評価され、関連会社の教育研修も頂戴することができました。観光業界は人が財産です。観光業界で学んだこの考えは他の業界にも活かされると確信しております。



東日本大震災、福島原発事故、豪雨災害。これらの災害や事故は、私たちの考え方や生活スタイルなど様々な価値を根底から揺り動かしています。2011年の変動の年であるとともに、こういう時だからこそ人のぬくもりやつながりが大切な財産であることも学びました。この1年 Together の編集を通して皆さまとつながることができたことが最大の喜びです。ありがとうございました。(増田)

株式会社 KBS 創研

本社・西日本営業部：〒661-0003 兵庫県尼崎市富松町1-9-15-103 TEL：06-6423-5561/ FAX：06-6423-5571

東日本営業部：〒103-8246 東京都中央区日本橋2-6-5 日本橋2丁目ビル6階 TEL：03-3246-1314/ FAX：047-426-0913

<関連会社>ネクストサポート株式会社（事業再生コンサルティング）

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-6-20 マスイビル6階 TEL：06-6282-7226/ FAX：06-4707-3855

特定非営利活動法人 ふるさと応援隊（着地型観光支援事業）

〒604-0044 京都市中京区小川通押小路下下古城町376-205 TEL：075-708-5741/FAX：075-708-5741

- 代表取締役：小泉寿宏
- 事業内容：観光・サービス業の経営支援
- 設立：2004年4月
- 地域オフィス：関西・東京